

青地活第 437 号
平成 31 年 3 月 29 日

県内各企業・団体等の長 様

青森県企画政策部地域活力振興課長
(公印省略)

平成 31 年度 (2019 年度) あおもり立志挑戦塾 塾生 (第 12 期生) 募集について (依頼)

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

県では、本県の経済や地域づくりを力強くけん引していく気概やチャレンジ精神、発想力、行動力、視野を備えた人財の育成とネットワークづくりを目的に、平成 20 年度から「あおもり立志挑戦塾」を実施しており、これまでの 11 年間で 255 名が塾を修了しています。

塾長には、平成 31 年度 (2019 年度) から (一財) 日本総合研究所 会長、多摩大学 学長の寺島 実郎氏が就任します。塾では塾長や一流講師陣による講演、グループディスカッション等を通じ、地域のために自分たちは何ができるのか、自分の人生の志は何か、について徹底的に考えます。

主に若手・中堅社会人の方を中心に、県内各地から集まる同世代の仲間たちと刺激し合いながら、自分を見つめ直し、自らの人生の目標である「志」を立てるきっかけとしていただきたいと思いをします。

このたび、平成 31 年度 (2019 年度) の塾生募集を開始しましたので、多くの方に御応募いただきたく、別添のとおりチラシをお送りいたしました。

お忙しいところ恐縮ですが、貴職所属の職員への周知及び応募について御配慮くださるようお願いいたします。

【お申込み、お問合せ先】
地域活力振興課人づくりグループ
電話 (直通) 017-734-9133
FAX 017-734-8027
e-mail jinzai@pref.aomori.lg.jp



あおもり

立志 挑戦塾

『人生の志』と『一生の仲間』を見つけませんか

平成31年度(2019年度)

12期生

塾生募集

申込期限

2019年

5/10(金)

必着



面接日時

平成31年(2019年) **5月18日(土)**
個別の面接時間は別途お知らせします。

面接会場

青森国際ホテル
〒030-0801 青森県青森市新町1丁目6-18

募集塾生

20代~30代の社会人 **30名程度**
(全5回と成果報告会への出席を基本とする)

応募方法

下記の書類を郵送または電子メールで、「青森県地域活力振興課 人づくりグループ」まで提出してください。
(書類は任意様式、送付先は下記参照)

- 1 入塾目的と修了後の活動目的(800字程度)
- 2 勤務先からの推薦書または承諾書
(自営業の方は不要)
- 3 履歴書
(氏名・ふりがな・年齢・男女の別・連絡先・
申込者本人の連絡がつかないメールアドレスは必ず明記)
- 4 自己紹介



あおもり立志挑戦塾 塾長
(一財)日本総合研究所 会長
多摩大学 学長

寺島 実郎 氏

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究所修士課程修了後、三井物産に入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産常務執行役員、三井物産戦略研究所 所長・会長等を歴任し、現在は(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長を務める。

年間スケジュール【年5回・各1泊2日】

会場 青森市内ほか 受講料 50,000円/年

【第1回】6/14(金)~15(土)	【第4回】10/5(土)~6(日)
【第2回】7/20(土)~21(日)	【第5回】12/6(金)~7(土)
【第3回】8/24(土)~25(日)	【成果報告会】2020年1月~2月

※ 日程はやむを得ず変更となる場合があります。

※ 一部講座は、経営者等を対象とした「あおもり立志経営塾」との共通講座となります。

青森県企画政策部地域活力振興課 人づくりグループ

〒030-8570 青森県青森市長島1丁目1-1
[TEL] 017-734-9133 [FAX] 017-734-8027

[E-mail] jinzai@pref.aomori.lg.jp

詳細はこちら▶

あおもり立志挑戦塾

検索◀





あおり立志挑戦塾 塾長
寺島 実郎氏
 Jitsuro TERASHIMA

Profile

- ◆ 米国三井物産ワシントン事務所長
- ◆ 三井物産常務執行役員
- ◆ 三井物産戦略研究所 所長・会長
- ◆ 一般財団法人 日本総合研究所会長
- ◆ 多摩大学学長

あ おもり立志挑戦塾は、初代塾長である野田一夫先生の、「志」を抱き、挑戦意欲をもった青森の若者たちを育てたいとの想いの下、創設された。

私自身、社会人として働き始めた頃、都心のホールの講演会の片隅で、丸山眞男氏、福田恆存氏の話聞いた思い出がある。話の内容は記憶にないが、幾つかの心に残る言葉、物の見方に刺激を受け、家路についた。

自分が生きている時代を的確に把握することは容易ではない。だからこそ、時代に対し真剣に発信している人々の話を体系的に聞く機会を提供する必要性を強く感じている。

いま日本に欠けているものは本質を見抜く知の力である。それこそがあらゆる意味での行動と変革の基盤である。若き志をもった青森の若者たちに出会えることに期待したい。



あおり立志挑戦塾 名誉塾長 (初代塾長)
野田 一夫氏
 Kazuo NODA

Profile

- ◆ 一般財団法人 日本総合研究所 名誉会長
- ◆ 多摩大学名誉学長
- ◆ 宮城大学初代学長
- ◆ 事業構想大学院大学 初代学長

夢 という言葉が子どもにふさわしいように、「志」という言葉は若者にふさわしい。夢も志も人生の望ましい将来像だが、子どもが心に描く夢は淡い願望に過ぎないから、やがて人生の厳しい現実遭遇するや儚く消える。他方「志」は、成人して「我」を自覚した者だけが、ある契機で心に立ち上げる確固たる、遠大な、ある種の感動を伴う人生目標だ。

重要なことは、青森の将来のために何を、どう貢献するかだ。真に青森を愛する気鋭の諸君が一人でも多く本塾を志願されることを、心から期待したい。



あおり立志挑戦塾 名誉塾長 (第2代塾長)
天明 茂氏
 Shigeru TENMYO

Profile

- ◆ 一般社団法人 人間力大学校 理事長
- ◆ 宮城大学名誉教授
- ◆ 公認会計士

中 国の古典「大学」は「天子より庶人に至るまで、是れ皆身を修むるを以て本となす」とし、「本」たる人間学と「未」たる知識・技術の本末転倒を戒めている。

人間力は、産んでいただき、育てていただいた両親への恩の意識が原点である。両親・家族への恩意識は「お蔭さま、ありがとう」という感謝の心を育み「恩返し」の心に広がる。これが「人の役に立つ」「地域に貢献する」「社会の不条理を正す」という社会性に発展する。

今、求められているのは人間力の高いリーダーの輩出だ。あおり立志挑戦塾の1人ひとりが生まれながらに持っている徳に気づき、これを生かし、それぞれの立場で一隅を照らしてほしい。これにより青森県が、そして日本が明るく活性化することを願う。

あおり立志挑戦塾
 コーディネーター / 塾長特別補佐
佐藤 大介氏
 Daisuke SATO

Profile

- ◆ (株)東北アレンジャーズ 代表取締役
- ◆ (株)刀 エグゼクティブディレクター プランニング&オペレーション
- ◆ 前・(株)星野リゾート取締役・海外運営統括
- ◆ 青森県総合計画審議会委員

1975年大阪府生まれ、千葉県育ち。早稲田大学理工学部建築学科卒業後、1999年に三井物産(株)入社。ニューヨーク駐在員などを経て、2004年(株)星野リゾートに入社。星野リゾート青森屋、星野リゾートマム総支配人、本社取締役・マーケティング統括、同・海外運営統括を歴任。2019年1月の退社後、現在は、青森や東北を元気にすべく(株)東北アレンジャーズを立ち上げるとともに、(株)刀エグゼクティブディレクターなどを通して地方をマーケティングの力で元気にする活動をおこなう。「あおり立志挑戦塾」第1期生。

■ 主な講師(予定)



大西 賢氏
 Masaru ONISHI

Profile

- ◆ 日本航空株式会社 特別理事

1955年生まれ。東京大学工学部卒業。1978年日本航空株式会社入社、整備本部を中心に従事。安全運航等に関わる現場の経験・見識を習得し、また、航空機メーカー、エンジンメーカー、整備事業者等との渉外業務を通じて、航空業界における多くの知見・人脈を獲得してきた。2010年社長、2012年代表取締役会長、2014年取締役会長、2018年特別理事(現任)。



白井 さゆり氏
 Sayuri SHIRAI

Profile

- ◆ 慶應義塾大学総合政策学部 教授
- ◆ 元日本銀行審議委員

慶應義塾大学・総合政策学部教授。アジア開発銀行研究所客員研究員を兼任。2011年4月から2016年3月まで日本銀行・政策委員会審議委員として金融政策決定に携わる。2007-08年にフランス、パリ政治学院客員教授、1993-98年：国際通貨基金(IMF)エコノミスト。1993年にコロンビア大学経済学部大学院で経済学博士(Ph.D.)。

タイムスケジュール【2日間】

- 1日目
- 13:00～ 塾長・講師による 講話・質疑応答
 - 16:00～ グループディスカッション (途中、夕食・懇親会をはさむ)
- 2日目
- 8:00～ グループディスカッションの結果発表・講評
 - 11:00～ 解散

あおり立志挑戦塾 Q&A

- Q1** 塾ではどんなことが学べるのですか?
- 人間力を高めるために必要なことを学び、議論と実践を通じて、自らの志を見つけます。
- Q2** 参加者の業種を教えてください。
- 農業、食品関連企業、自営業、金融業、サービス業、行政など業種の垣根なく塾生が集まります。同志とのネットワークを広げるチャンスです。



Q3 グループディスカッションの目的は何ですか?

自分自身の生き方や存在価値を仲間とともに徹底的に議論し、考えます。